



昭和61年10月号に発行された『広報大崎』の表紙に採用された照日神社の神舞（田ノ神舞）

写真は、昭和61年9月14日（1985年）に照日神社で行われた荒佐野創住三百年記念祭の様子です。

今から約300年前の荒佐は、人の背丈以上もあるススキが生い茂っていた荒野だったそうです。

ここに大阪地方（昔の摂津、河内、和泉の三國）から128人が移住し、たいへんな苦労を重ねて開墾を続け、今日の豊かな耕地ができたのです。

この方々によって、元禄2年に伊勢国から天照皇大臣を勧請し、伊勢神社が建てられました。明治8年に照日神社が合祀され、以後照日神社と称するようになったになりました。

照日神社に伝わる神舞は、都萬神社の神舞を受け継いだもので、初演は明治26年2月（1893年）と言われています。

この神舞は、野方神舞保存会（川原辰雄会長）によって踊り継がれ、毎年3月の第2日曜日に開催される照日神社において奉納されています。

昔懐かしい写真を探しています！

* 大崎町内の昔懐かしい風景や、建物、まつりなどの古い写真を随時募集します。

詳しくは、下記問い合わせ先まで連絡下さい。

* 広報担当が自宅までお伺いします。

* お借りした写真は、スキャナー等で読み込み後、返却いたします。

* アルバムのままでも構いません。



【お問い合わせ先】

大崎町役場

企画調整課 企画広報係

476-1111（223）